

表彰

〔2026 年度学会賞受賞者〕

- 壹岐 伸彦 君（東北大学大学院環境科学研究科・教授）
 研究業績 構成要素間協働に基づく溶液内錯体の機能解析と多機能システムの創発
- 小澤 岳昌 君（東京大学大学院理学系研究科・教授）
 研究業績 光応答性タンパク質を基盤としたバイオ分析法の開発と応用
- 浜瀬 健司 君（九州大学大学院薬学研究院・教授）
 研究業績 光学活性生体関連分子を対象とする多次元液相分離分析基盤の構築

〔2026 年度学会功労賞受賞者〕

- 井上 嘉則 君（技術コンサルタント（自営）、東京薬科大学客員教授、愛知工業大学客員研究員、富山大学協力研究員）
 研究業績 高機能ポリマー系抽出分離剤および公定水質試験方法の開発による分析化学への貢献
- 田中 秀治 君（徳島大学・名誉教授）
 研究業績 流量の周期的変化を活用する新規フロー分析法の創成

〔2026 年度奨励賞受賞者〕

- 岡崎 琢也 君（工学院大学先進工学部・准教授）
 研究業績 光ファイバーベースの分光学的センサーの構築と応用
- 坂江 広基 君（金沢大学理工研究域・助教）
 研究業績 機能性薬剤キャリアの創製を志向した生体関連高分子の相間移動・膜反応機構解明
- 平本 薫 君（東北大学学際科学フロンティア研究所・助教）
 研究業績 電気化学発光イメージングによる細胞模倣システムの評価
- 宮川 晃尚 君（広島大学大学院先進理工系科学研究科・助教）
 研究業績 超音波―重力複合場とマイクロ粒子表面反応に基づく微量計測

〔2026 年度先端分析技術賞受賞者〕

JAIMA 機器開発賞

- 中田 克 君（㈱東レリサーチセンター・室長）
 研究業績 量子ビームとマルチモーダル解析による生体高分子・生細胞のナノ構造理解と応用

〔2026 年度女性 Analyst 賞受賞者〕

- 岡村恵美子 君（姫路獨協大学薬学部・教授）
 研究業績 高分解能核磁気共鳴法による生体関連反応の *in situ* 解析
- 島田亜佐子 君（(国研)日本原子力研究開発機構・研究主幹）
 研究業績 福島第一原子力発電所事故解析に関わる同位体精密分析法の開発

〔2025 年「分析化学」論文賞受賞者〕

森岡 和大 君（東京薬科大学薬学部医療薬物薬学科）
 秋山 翼 君（東京薬科大学薬学部医療薬物薬学科）
 中村 好花 君（東京薬科大学薬学部医療薬物薬学科）
 守岩友紀子 君（東京薬科大学薬学部医療薬物薬学科）
 柳田 顕郎 君（東京薬科大学薬学部医療薬物薬学科）
 野口 拓郎 君（高知大学教育研究部総合科学系複合領域科学部門）
 福場 辰洋 君（（国研）海洋研究開発機構技術開発部）
 東海林 敦 君（東京薬科大学薬学部医療薬物薬学科）
 受賞論文 吸光及び蛍光測定機能を搭載した微生物培養デバイスの開発

〔2026 年度有功賞受賞者〕（敬称略）

土橋 晋作	三菱重工業(株)	銘苅 健弥	JFE テクノリサーチ(株)
川元 達彦	兵庫県但馬県民局豊岡健康福祉事務所	小迫 健	JFE テクノリサーチ(株)
藤川 准	(独)造幣局	三浦 秀一	JFE テクノリサーチ(株)
北里 朋子	住友金属鉱山(株)	古山 淳	JFE テクノリサーチ(株)
柳田 和美	住友金属鉱山(株)	須藤 華代	(株)大同分析リサーチ
佐々木孝一	住友電気工業(株)	齋藤 彰伸	DOWA テクノリサーチ(株)
嶽盛 公昭	(株)島津テクノリサーチ	鈴木 徹	DOWA テクノリサーチ(株)
山本 明美	日産化学(株)	山田 真稔	味の素(株)
武村 勝則	三井金属(株)	吉木 昌彦	(株)東芝
矢吹 元央	東芝ナノアナリシス(株)	林田 憲善	(株)日立ハイテクフィールドディング
菊地英一郎	(株)日立ハイテクアナリシス	西森 憲一	(株)日立ハイテクフィールドディング
城戸口久敬	(株)日立ハイテクアナリシス	中野 明子	(株)三井化学分析センター
田中佐智子	(株)レゾナック	福島 武	(株)三井化学分析センター
正田 勲	(株)トクヤマ	古賀 美香	(株)三井化学分析センター
坂根 正彦	(株)東ソー分析センター	荒巻 正和	(株)三井化学分析センター
青野 博文	(株)旭検査センター	小松 純子	(株)三井化学分析センター
藤本 洋子	旭化成(株)	浅沼 信二	(株)DNP 科学分析センター
藤澤 康広	JX 金属(株)	長崎 直人	三菱マテリアル(株)
黒木 祥文	セナーアンドバーンズ(株)	小林 政徳	日鉄テクノロジー(株)
高瀬 香織	JFE スチール(株)	平野 直志	日鉄テクノロジー(株)
徳岡麻里子	(株)東レリサーチセンター	小島 知也	日鉄テクノロジー(株)
小川 賢吾	(株)東レリサーチセンター	小野 卓男	(株)島津製作所
水野 昌一	(株)東ソー分析センター	井口 智	(株)島津製作所
猪瀬 幸司	(株)住化分析センター	川中 泰	(株)島津製作所
中山 博義	(株)住化分析センター	西 伸彦	(株)島津製作所
		安孫子宗久	(株)島津製作所

化学系業界紹介イベント —研究を社会につなぐ企業戦略—

主催 (公社)日本化学会近畿支部
協賛 (公社)日本分析化学会近畿支部ほか
期日 2026年9月4日(金)
開催方法 オンライン

プログラム

- 開会挨拶 (京大化研) 山田容子
趣旨説明 (関西大化学生命工) 梅田 塁
1. 共存共栄～世に役立つアイテムを生み出すには?～ (共栄社化学) 岡本直樹
2. 人と社会に豊かさと快適をこれからも (日本触媒) 齊藤 周
3. “人”から始まる創業
—SHIONOGI 研究所の人材戦略と試行錯誤— (塩野義製薬) 高橋知佳
4. 世界に繋がる舞台で自己実現を目指しませんか! (東レ) 後藤一起

総括と閉会挨拶 (京大院工) 木村 祐
対象 化学系学部・大学院生、高専生、化学系学部・大学院生の保護者、高専生の保護者
参加費 無料
申込方法 詳細は <https://csjkinki.com/career-design/> をご参照ください。
申込・問合先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 日本化学会近畿支部〔電話: 06-6441-5531, E-mail: csjevent@kinki.chemistry.or.jp〕

第26回生涯分析談話会へのお誘い

主催 生涯分析談話会
協賛 LC研究懇談会
日本分析化学会第75年会実行委員会(壹岐伸彦実行委員長)のご配慮により、標記談話会恒例の講演会を年会初日に下記の要領で開催できることとなりました。想い返しますと、第1回生涯分析談話会の講演会は、日本分析化学会第59年会(2010年9月15日～17日、東北大学川内北キャンパス)における四ツ柳隆夫先生のご講演に廻ります。第26回生涯分析談話会講演会が第1回と同じ東北大学を会場とし、開催日時も同じく初日の16時からであり、なおかつ四ツ柳先生のご薫陶を受けられた壹岐教授が今回の実行委員長を務められる巡り合わせには、感慨を禁じ得ません。仙台に集い、斎藤紘一先生のお話と昔話を花を咲かせましょう。

生涯分析談話会・会長 中村 洋
日時 2026年9月15日(火)16時から
場所 日本分析化学会第75年会会場(東北大学大学院環境科学研究科本館4階、講義室5)
第1部 講演会
講演 「クロマトグラフィーの科学と化学」
(東北大学名誉教授) 斎藤紘一
第2部 情報交換会(準備中)
参加費 第1部: 無料、第2部: 5,000円程度で準備中
詳細が分かり次第、LC研究懇談会ホームページ(<https://www.lckon.org/>)に随時掲載しますので、参加される部を明記してメールでお申し込みください。なお、第75年会に参加登録をされず、本生涯分析談話会講演会に参加される方は、他の年会会場には立ち入らぬよう、よろしくお願いいたします。
参加申込締切 9月1日(火)

参加申込先 中村 洋 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

2026年度LC/MS分析士 三段認証試験実施のお知らせ

標記につき、下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2026年10月5日(月)14時～16時
会場 北とびあ 701会議室(7階)〔東京都北区王子1-11-1、電話: 03-5390-1100、交通: ①JR京浜東北線「王子」駅下車北口より徒歩2分、②地下鉄南北線「王子」駅下車5番出口直結。〕

<https://www.hokutopia.jp/>

三段資格のイメージ 各種分析士に共通するものとして、「新しい分析法を開発し、その妥当性確認(Method validation)を計画し、実施できるレベル。当該分析・測定技術に関連する学術的知識に詳しく、経験が深い。」と規定されます。LC/MS分析士においては「LC/MSを用いた試験に関連する前処理に関する知識が十分である。与えられた公定法や論文を正確に読みこなし、自らその試験を行うかSOPを作成することができる。」ことが求められます。なお、試験問題としては科学ならびに分析化学一般に関する知識を問う内容が約30%含まれます。

受験料 8,800円(合格者は登録料5,500円を別途申し受けます)。入金確認後、受験番号をお知らせします。

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC/MS分析士二段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後、専用ホームページ(<https://forms.gle/mrwbYVbG83RVNGVP8>)にアクセスして必要事項を入力してください。

申込締切 9月18日(金)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349、口座名義: 公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会〔シヤ〕ニホンブンセキカガクカイエキタイクロマトグラフィー〕。一度お振り込みいただいた受験料は返却しません。万一、コロナ禍等で試験が中止された場合には、次の受験料を免除します。

問合先 (公社)日本分析化学会・LC研究懇談会・分析士認証専門部会 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

セミナー「炭素循環型バイオ燃料の未来展望」

主催 (公社)化学工学会関西支部
協賛 (公社)日本分析化学会近畿支部
期日 2026年10月16日(金)13.00～18.00
会場 大阪科学技術センター7階701号室〔大阪市西区靱本町1-8-4〕
プログラム
開会挨拶
1. 我が国初となる国産SAF製造事業に見る脱炭素社会の展望 (日揮ホールディングス) 西村勇毅
2. ちとセグループが進める微細藻類を利用した産業のバイオ化 (ちとせ研究所) 吉村 淳
3. 未利用バイオマス由来のバイオ燃料の低エネルギー製造技術とその利用展開 (阪公大院工) 小川泰一郎

4. Nature Positive で自国増産可能なバイオマスの活用とそのカーボンニュートラル戦略への挑戦 [対面参加者のみ聴講可]

(京大成長戦略本部) 植田充美

5. 王子ホールディングスの木質バイオマスとその活用戦略 [対面参加者のみ聴講可]

(王子ホールディングス) 奥谷岳人

閉会挨拶

6. 名刺交換会

申込締切 10月9日(金)ただし、対面式は50名、オンラインは90名になり次第締切。

参加費 主催・協賛団体個人正会員 19,000円、主催・協賛団体所属法人会員 23,000円、大学・公設機関 7,000円、学生会員 3,000円、会員外学生 5,000円、会員外 37,000円(テキスト代・消費税込、オンラインも同額)

申込方法 Web上の参加申込フォーム (<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=61574>) よりお申込みください。参加費は、銀行振込 [りそな銀行御堂筋支店 普通預金 No.0405228 名義: 公益社団法人化学工学会関西支部] をご利用ください(振込手数料はご負担ください)。

※参加申込者には10月上旬にE-mailにて会場案内図等をご案内します。

問合・申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 (公社)化学工学会関西支部 [電話: 06-6441-5531, E-mail: apply@kansai-scej.org]

詳細は <https://www.kansai-scej.org/topics/7410> をご参照ください。

第424回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会

後援 (公社)日本化学会、(公社)日本農芸化学会、(公社)日本分析化学会

これまでの例会では、分析種、分析操作、測定方法などに焦点を絞って開催してきましたが、今回はLC研究懇談会の中核をなす企業のLC懇役員から自慢の製品、技術、社はなどについて存分にアピールしていただきます。

期日 2026年10月19日(月) 13.00~17.00

会場 北とびあ・902会議室 [東京都北区王子1-11-1, 交通: JR京浜東北線「王子」駅北口より徒歩2分、地下鉄南北線「王子」駅下車5番出口直結、都電荒川線「王子駅前」駅より徒歩5分]

<https://www.hokutopia.jp/>

講演主題 我が社の自慢

講演

講演主題概説(オーガナイザー) (13.00~13.05)

(東京理科大学) 中村 洋

(LCマイスター、LC/MSマイスター)

1. LC溶媒およびLC-MS溶媒に関する弊社の強み (13.05~13.40)

(関東化学(株)) 岩田崇志

(LC分析士初段受験申込済)

2. カラム事業継承の役割 (13.40~14.15)

(株)北浜製作所 井上剛史

(LC分析士四段)

3. 多様なクロマトグラフィー製品を生み出すためのシリカゲル合成と表面処理技術 (14.15~14.50)

(ジェエルサイエンス(株)) 太田茂徳

(LC分析士二段)

4. 分光技術と超臨界流体技術が拓く新たな分析の可能性 (14.50~15.25)

(日本分光(株)) 佐藤泰世

(LC分析士二段)

休憩 (15.25~15.40)

5. 島津製作所の自慢 あれやこれや (15.40~16.15)

(株)島津製作所 寺田英敏

(LC分析士三段、LCMS分析士初段)

6. 総括「我が社の自慢」 (16.15~16.50)

(東京理科大学) 中村 洋

(LCマイスター、LC/MSマイスター)

参加費 ①学生: 1,000円、②LC懇・個人会員: 2,000円、③LC懇・団体会員: 3,000円、④後援学会・個人会員: 4,000円、⑤後援学会・団体会員: 4,500円、⑥その他: 5,000円(領収書の発行は、送金月日にかかわらず2026年10月20日以降となります。請求書は発行しません)。

参加申込締切後の受付はできませんので、ご了承ください。なお、日本薬学会会員として申込みされる方は、参加申込URLの後援学会欄に日本薬学会が表示されていることをご確認のうえお申込みください。まだ表示されていない場合は、表示されるまでお待ちください。

情報交換会 終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します(会費5,000円)。締切日後のご参加はできませんので、参加希望者は必ず事前にお申し込みください。

参加申込および参加費等納入締切日 2026年10月9日(金)(入金締切時刻: 15時まで)

申込方法

- 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先(電話番号)、LC会員・協賛学会会員・その他の別および情報交換会参加の有無を明記のうえ、お申込みください。なお、参加者名と振込者名が違う場合は、参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。
- お申込みが完了した場合には、登録されたアドレス欄に「第424回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は、①入力したご自分のアドレスに間違いがないか、②迷惑メールフォルダーをご確認のうえ、世話人までお問い合わせください。
- 申込み受付のメールを受領後、必ず期限内に研究懇談会参加費、情報交換会費の納入を行ってください。期限内に納入が確認できない場合、お申込みを無効とし参加URLを発行しませんので、十分ご注意ください。当日払いは受け付けません。なお、いったん納入された参加費は、返金いたしません。
- 参加費の納入が確認できた方には、2026年10月10日以降に要旨集をメールにてお送りいたします。必要に応じてプリントアウトしてご参加ください。なお、請求書の発行はいたしておりません。

液体クロマトグラフィー研究懇談会(例会)参加費送金時のご注意

例会参加費、情報交換会費を送金される場合、下記を禁止しておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

- 複数例会の参加費の同時振込(→例会ごとに振り込んでください)
- 複数参加者の参加費の同時振込(→参加者ごとに振り込んでください)
- 年会費や他の費用との合算振込(→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/dkVW3KekFsYu9C3t7>

(学生申込者は、所属欄に大学名、学部、学年を記載)

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通) 1754341、口座名義: シヤ)ニホンブンセキカグカイ [公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

問合先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究
懇談会 世話人 東京理科大学 中村 洋
[E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

ナノ材料の総合分析講習

主催 (一社)近畿化学協会触媒・表面部会
協賛 (公社)日本分析化学会近畿支部ほか
期日 2026年10月26日(月)・27日(火)
会場 大阪公立大学杉本キャンパス
プログラム

- 第1日(26日9.30~18.15)
開会挨拶 (阪公大 ReCAP) 天尾 豊
1. 表面分析概論 (大工大工) 天尾 豊
2. 質量分析・クロマトグラフ (MS・GC・LC) (京大院工) 井口翔之
3. 光電子分光法 (XPS, UPS) (京都工繊大材料化学) 富田 修
4. X線回折 (XRD) (京大院人環) 高見大地
5. 電気化学測定 (京大) 東 正信
6. 赤外・ラマンスペクトル (FT-IR, Raman) (阪公大院工) 竹内雅人
7. 昇温法 (TG・DTA・TPD, TPR) (阪大院工) 森 浩亮
交流会
第2日(27日9.30~17.40)
8. X線吸収微細構造 (XAFS) (近大理工) 山本 旭
9. 紫外可視・光ルミネセンス (UV-vis, PL) (京大院工) 浪花晋平
10. 核磁気共鳴 (NMR) (神戸大院工) 山口 渉
11. 顕微鏡 (TEM・SEM・STM・AFM) (阪大院工) 古川森也
12. 組成分析 (AAS, ICP-AES, XRF) (関大環境都市工) 福康二郎
13. 吸着法 (近大理工) 室山広樹
14. 電子スピン共鳴 (ESR) (阪公大院工) 松岡雅也
15. 総論・ケーススタディー (京大院人環) 吉田寿雄
閉会挨拶 (阪公大 ReCAP) 天尾 豊

参加費・申込方法

詳細は <https://kinka.or.jp/catalytic/> をご参照ください。
申込締切 10月5日(月)
申込・問合先 〒550-0004 大阪市西区靫本町1-8-4 近畿
化学協会触媒・表面部会 [電話: 06-6441-5531, FAX: 06-
6443-6685, E-mail: catal@kinka.or.jp]

第20回茨城地区分析技術交流会

主催 (公社)日本分析化学会関東支部・同茨城地区分析技術
交流会
期日 2026年11月6日(金)
会場 水戸市民会館 南側3階大会議室および2階展示室〔茨

城県水戸市泉町1-7-1, 交通: JR常磐線水戸駅北口からバ
ス・タクシーで5分あるいは徒歩20分]

<https://www.mito-hall.jp/>

プログラム

- 12.00~ 受付
13.00~13.05 開会挨拶
13.05~13.45 抽出分離場としての疎水性イオン液体
(東邦大学理学部) 平山直紀
13.45~14.10 協賛企業フラッシュプレゼンテーション
14.15~15.45 ポスター発表(分析研究, 技術開発の紹介など)
16.00~16.40 生命機能の理解を深化する生体模倣と計測の
融合技術 (東京薬科大学薬学部) 東海林敦
16.40~17.20 実験器具の取り扱い方法
(東京都立産業技術研究センター) 林 英男
17.20~17.25 閉会挨拶
17.40~19.30 情報交換会

参加申込・ポスター発表申込 10月24日(金)までに, 日本
分析化学会関東支部の茨城地区のホームページ (https://kanto.jsac.jp/20th_ibaraki/) に掲載の【Google フォーム①】
に必要事項をご記入のうえ, 送信してください。参加費は無
料です。なお, ポスター発表では, ポスター番号別による2
部制(各45分を予定)でコアタイムを設定します。ポス
ター賞(学生および一般)を設けていますので, 奮ってご応
募ください。講演およびポスター発表終了後には情報交換会
を予定していますので, 参加の有無についてのご記入も願
いいたします。情報交換会に参加される方は, 交流会当日に
会費3,000円(一般), 1,000円(学生)を受付にてお支払い
ください。

ポスター発表要旨 A4用紙1枚(上下左右マージン2.5cm)
に, ①発表題目, ②所属, ③発表者氏名(発表者に○), ④
発表要旨(形式自由)を記入し, PDFファイルを同ホーム
ページ掲載の【Google フォーム②】にアップロードしてい
ただくか, 下記連絡先まで電子メールでお送りください。提
出締切は10月9日(金)です。なお, ポスターサイズはA0
(縦)に収まるサイズで作成してください。

連絡先 〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1 茨
城大学農学部 鎗田 孝
[E-mail: ibaraki-bunseki@ml.ibaraki.ac.jp]

LC- & LC/MS-DAYS 2026

～基礎から問題解決まで

主催 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー
(LC) 研究懇談会
後援 (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日
本分析化学会, 分析士会, LCシニアクラブ
高速液体クロマトグラフィー(HPLC)および高速液体クロ
マトグラフィー質量分析(LC/MS)は汎用分離分析法として
分野を問わず活用され, 新しいユーザーが絶え間なく誕生して
います。HPLCおよびLC/MSの初心者・中級者にとっては一
日も早く関連技術を習得することが求められていますが, 現場
ではさまざまなトラブルに遭遇し, その解決に苦勞することも
稀ではありません。一方, 分析値信頼性確保への社会的な高ま
りに応えるため, (公社)日本分析化学会は分析士資格認証制度
を2010年度から創設して液体クロマトグラフィー(LC)分析
士試験を実施し, 2011年度からLC/MS分析士試験, 2012年
度からイオンクロマトグラフィー(IC)分析士試験をそれぞ
れ継続して実施しています。2026年4月までに分析士として
登録された方は, 3,500名を超えており, 分析士認証制度の認
知度と我が国の産業界への貢献は増大の一途です。そこで,

LC 研究懇談会では HPLC, LC/MS 並びに関連技術に関する専門家の養成を目指し、参加者の基礎知識習得と現場で遭遇するさまざまな問題を解決できる能力の育成を目指し、「基礎から問題解決まで」を 2026 年のメインテーマに掲げました。この研修会では、技術者・研究者・メーカー・ユーザーが一体となり、基礎から最前線までを一緒に考えます。また、本研修会は分離科学的な専門知識の効率的な習得に加え、ヒューマンネットワーク構築の場としても貴重な 2 日間となりますので、奮ってご参加ください。なお、本研修会終了後の、① 2026 年度 LC 分析士初段認証試験の筆記試験を免除する試験、② 2026 年度 LC/MS 分析士初段認証試験の筆記試験を免除する試験（①②は同時刻実施、無料）に合格されますと、当該分析士初段認証試験の筆記試験が免除される特典があります（初段登録時には正規の受験料 6,600 円と登録料 3,300 円が必要です）。

会期 2026 年 12 月 3 日（木）・4 日（金）

会場

①講演会場：名古屋国際センター〔愛知県名古屋市中村区那古野 1-47-1、電話：052-581-0100、FAX：052-581-5629、交通：JR「名古屋」、名鉄「名鉄名古屋」、近鉄「近鉄名古屋」、地下鉄東山線「名古屋」下車、徒歩 7 分〕
<https://www.nic-nagoya.or.jp>

②情報交換会会場：神戸館名駅店〔愛知県名古屋市中村区名駅 3-18-20、電話：052-433-5001（店舗直通）、交通：名古屋駅 4 番口徒歩 6 分〕
https://www.kobekangroup.com/shop/modern_kabto/

プログラム

12.30～13.00 受付

1 日目（12 月 3 日（木））

13.00～13.05 実行委員長・開会挨拶

（東京理科大学）中村 洋

13.05～13.10 現地共同世話人挨拶

（北浜製作所）井上剛史
 （LC シニアクラブ）熊谷浩樹

基調講演

13.15～13.45（座長：櫻井 周）

S0-1 HPLC 分析、LC/MS 分析の基礎から問題解決まで～体系的整理
 （東京理科大学）中村 洋

第 1 部 予備調査（3 件）

13.45～14.00（座長：中村 洋）

S1-2 テーマの決定

（LC シニアクラブ）竹澤正明

14.00～14.15（座長：竹澤正明）

S1-3 文献検索

（花王）奥田愛未

14.15～14.30（座長：奥田愛未）

S1-4 実験室での法規制

（LC シニアクラブ）西岡亮太

第 2 部 試料の調製（8 件）

14.30～14.45（座長：西岡亮太）

S2-5 水

（日本ミリポア）石井直恵

14.45～15.00（座長：石井直恵）

S2-6 試薬・溶媒

（関東化学）岩田嵩志

15.00～15.15（座長：岩田嵩志）

S2-7 容器・器具

（太田胃散）濱崎保則

15.15～15.30（座長：濱崎保則）

S2-8 サンプルング

（栗田工業）榎本幹司

15.30～15.45 コーヒー/ティーブレイク

15.45～16.00（座長：榎本幹司）

S2-9 除タンパク

（臨床検査基準測定機構）岡橋美貴子

16.00～16.15（座長：榎本幹司）

S2-10 溶媒抽出

（臨床検査基準測定機構）岡橋美貴子

16.15～16.30（座長：岡橋美貴子）

S2-11 固相抽出

（ジーエルサイエンス）太田茂徳

16.30～16.45（座長：岡橋美貴子）

S2-12 移動相の脱気

（ジーエルサイエンス）太田茂徳

18.00～20.00 情報交換会（神戸館名駅店）

2 日目（12 月 4 日（金））

第 3 部 カラム分離（9 件）

9.00～9.15（座長：岡橋美貴子）

S3-13 充填剤の基礎

（クロマニックテクノロジーズ）長江徳和

9.15～9.30（座長：長江徳和）

S3-14 逆相クロマトグラフィー

（化学物質評価研究機構）坂牧 寛

9.30～9.45（座長：坂牧 寛）

S3-15 HILIC

（クロマニックテクノロジーズ）長江徳和

9.45～10.00（座長：長江徳和）

S3-16 イオン交換クロマトグラフィー

（味の素）大貫隆史

10.00～10.15（座長：大貫隆史）

S3-17 サイズ排除クロマトグラフィー

（東ソー）伊藤誠治

10.15～10.30 コーヒー/ティーブレイク

10.30～10.45（座長：大貫隆史）

S3-18 アフィニティークロマトグラフィー

（東ソー）伊藤誠治

10.45～11.00（座長：伊藤誠治）

S3-19 キラル分離

（北浜製作所）井上剛史

11.00～11.15（座長：井上剛史）

S3-20 二次元分離

（LC シニアクラブ）熊谷浩樹

11.15～11.30（座長：熊谷浩樹）

S3-21 SFC

（島津製作所）寺田英敏

11.30～11.45 集合写真撮影

11.45～12.25 昼食休憩（名古屋国際センター内）

第 4 部 検出（10 件）

12.25～12.40（座長：寺田英敏）

S4-22 吸光度検出

（日本食品分析センター）横関俊昭

12.40～12.55（座長：横関俊昭）

S4-23 示差屈折率検出

（北浜製作所）井上剛史

12.55～13.10（座長：井上剛史）

S4-24 蛍光検出

（LC シニアクラブ）三上博久

13.10～13.25（座長：井上剛史）

S4-25 蒸発光散乱検出

（LC シニアクラブ）三上博久

13.25～13.40（座長：三上博久）

S4-26 電気化学検出

（東レリサーチセンター）櫻井 周

13.40～13.55（櫻井 周）

S4-27 ICP-MS 検出

（フジクラ）市川進矢

13.55～14.10 (座長：市川進矢)

S4-28 ESI

(LC シニアクラブ) 竹澤正明

14.10～14.25 (座長：竹澤正明)

S4-29 APCI と APPI

(日本食品検査) 橘田 規

14.25～14.40 (座長：竹澤正明)

S4-30 PESI と DART

(日本食品検査) 橘田 規

14.40～14.55 (座長：橘田 規)

S4-31 MS/MS

(LC シニアクラブ) 竹澤正明

14.55～15.10 コーヒー/ティーブレイク

第5部 測定後処理 (3件)

15.10～15.25 (座長：竹澤正明)

S5-32 データ解析

(LC シニアクラブ) 熊谷浩樹

15.25～15.40 (座長：熊谷浩樹)

S5-33 報告書の作成

(味の素) 大貫隆史

15.40～15.55 (座長：大貫隆史)

S5-34 論文の作成・投稿

(東レリサーチセンター) 櫻井 周

15.55～16.00 実行委員長・閉会挨拶

(東京理科大学) 中村 洋

16.15～16.45 (認証専門委員会試験監督：中村 洋)

修了試験 4 択式で 10 問、マークシートに解答 (受験料：無料)。

① 2026 年度 LC 分析士初段認証試験筆記試験免除試験

② 2026 年度 LC/MS 分析士初段認証試験筆記試験免除試験

参加費 20,000 円 (税込み 10%)。領収書はインボイス制度対応小委員会が適宜発行しますが (E-mail: k.enomoto15@kurita-water.com)，請求書の発行はいたしておりません。なお、参加費には情報交換会代 (初日)，昼食代 (2 日目)，コーヒー/ティーブレイク代 (3 回)，講演要旨集代などが含まれますが、宿泊代と 2 日目の朝食代は含まれていませんので、各自で予約等の手続きをお願いします。

参加申込方法 ①参加者氏名，②連絡先 (メールアドレス，所属，住所，電話番号，E-メール，③上記修了試験受験希望の有無 (希望者は LC か LC/MS かの区分を記載。受験予定者は 2B 以上の黒鉛筆と消しゴムを持参) を明記し，下記参加申込先 URL にお申し込みください。

参加申込先

<https://forms.gle/2nWJybzBuWxBWb89>

参加申込締切 11 月 19 日 (木) 入金締切時刻 15 時

銀行送金先 りそな銀行五反田支店 (普通) 1754341，口座名義：シヤ) ニホンブンセキカガクカイ [(公社) 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

問合先 研修会実行委員長 中村 洋 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

なお、開催日が近付きましたら、LC 研究懇談会のホームページ (<http://www.lckon.html>) をご覧ください。

第 5 回 LC シニアクラブ参加者募集

主催 LC シニアクラブ

協賛 LC 研究懇談会

後援 分析士会，(公社) 日本化学会，(公社) 日本農芸化学会，(公社) 日本分析化学会，(公社) 日本薬学会

LC シニアクラブ (LCSCCL) は，(公社) 日本分析化学会・LC

研究懇談会のシニア役員を中核とし，LC や LC/MS をはじめ，さまざまな技術や手法の開発・改良，技術を継承する人材の発掘・育成・組織化などのストラテジーを自由な発想に基づいて俯瞰的な立場から提案するための頭脳集団です。今回も昨年に続き，LC 研究懇談会が主催する LC- & LC/MS-DAYS 2026 にリンクし，その終了直後から第 5 回会合を開きます。参加資格は特にはありませんので，ご興味をお持ちの方は奮ってご参加ください。

日時 第 1 部：2026 年 12 月 4 日 (金) 18 時～20 時

第 2 部～第 4 部：12 月 5 日 (土) 9 時～14 時

会場

①第 1 部：四川菜園名駅店 [愛知県名古屋市中村区名駅 3-15-8 名駅グルメプラザ 6F，電話：052-586-6888，交通：名古屋駅から徒歩 3 分，名古屋国際センターから徒歩 6 分]

<https://shisensaen.eei.jp/>

②第 2 部～第 3 部：名古屋国際センター (NIC) 第 5 会議室 [愛知県名古屋市中村区那古野 1-47-1，交通：名古屋駅より東へ徒歩 7 分]

<https://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/>

③第 4 部：名古屋駅近隣レストラン (未定)

プログラム

総合司会：井上剛史

第 1 部 情報交換会 (12 月 4 日，18.00～20.00，四川菜園名駅店)

1) 挨拶：LC シニアクラブ会長・中村 洋 (東京理科大学・名誉教授)

2) 自己紹介と歓談：全参加者

第 2 部 2026 年度総会 (12 月 5 日，9.00～10.30，名古屋国際センター)

1) 報告事項 (事業報告，新規入会者，等)

2) 承認事項 (事業計画案，定款改定，次期役員と分担，等)

第 3 部 講演・話題提供 (10.30～12.00，名古屋国際センター)

11.00～11.30 (座長：三上博久)

講演 1 フリーウェアを利用したピーク拡散のシミュレーション

(LC シニアクラブ) 熊谷浩樹

11.30～12.00 (座長：竹澤正明)

講演 2 PFAS 分析の最近の動向 (仮題)

(栗田工業) 根本幹司

第 4 部 アルコール・ランチ放談会「LC 研究懇談会，分析士会，人材育成，ヒューマンネットワーク，新規事業，新技術開発など」(12.30～14.00，名古屋駅近隣レストラン)

参加費 11,000 円 (税込み 10%) 12 月 4 日の宿泊費，12 月 5 日の朝食代は含みませんので，各自での対応をお願いします。

参加申込方法 下記の申込先 URL から氏名・(元) 所属，メールアドレス，電話番号，生年月日を記入してお申し込みください。

参加申込先

<https://forms.gle/9aCBmHtoFuVr3K8PA>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店 (普通) 0802349，口座名義：シヤ) ニホンブンセキカガクカイ [(公社) 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

申込締切 11 月 20 日 (金) 入金締切時刻 15 時

問合先 E-mail: nakamura@jsac.or.jp

——以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

第36回顕微鏡サマースクール

主催 (公社)日本顕微鏡学会
期日 2026年8月21日(金)・22日(土)
会場 昭和医科大学旗の台キャンパス
ホームページ
<https://microscopy.or.jp/summerschool/>
連絡先 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-21-13-402
(公社)日本顕微鏡学会事務局
〔電話：03-6457-5156, E-mail: jsm-post@microscopy.or.jp〕

電気化学セミナーB： 初心者のための電気化学測定法 実習編（オンデマンド配信版）

主催 (公社)電気化学会
期日 2026年8月24日(月) 正午～9月8日(火) 午後5時
会場 オンデマンド配信の動画セミナー
ホームページ
<https://www.electrochem.jp/seminar/>
連絡先 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6 日本弘
道会ビル7F (公社)電気化学会事務局 原優美子
〔電話：03-3234-4213, E-mail: seminar@electrochem.jp〕

特定放射光施設シンポジウム2026 社会と科学技術をつなぐ新たな光の利活用に向けて

主催 特定放射光施設ユーザー協団体 (SpRUC), 理化学研
究所 放射光科学研究センター (RSC), 量子科学技術
研究開発機構 NanoTerasu センター, 高輝度光科学研
究センター (JASRI), 京都大学
期日 2026年9月3日(木)・4日(金)
会場 京都大学芝蘭会館本館稲森ホール (京都大学医学部構
内)
ホームページ [http://www.spring8.or.jp/ja/science/
meetings/2026/sp8sympo2026/](http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2026/sp8sympo2026/)
連絡先 〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1 特定
放射光施設ユーザー協団体 (SpRUC) 事務局 古川美奈
〔電話：050-3496-8833, E-mail: users@spring8.or.jp〕

AI×Science： 研究プロセス革新の現在地と未来像

主催 (公社)日本化学会関東支部
期日 2026年9月4日(金)
会場 オンライン開催
ホームページ
<https://kanto.csj.jp/event/2026/05211407064327/>
連絡先 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 日本
化学会関東支部 安重智美

〔電話：080-7397-9810, E-mail: kanto@chemistry.or.jp〕

データ駆動×実験自動化が変える研究開発： 材料・反応・製品開発DXの最前線

主催 (公社)日本化学会関東支部
期日 2026年9月8日(火)
会場 オンライン
ホームページ
<https://kanto.csj.jp/event/2026/05211407154383/>
連絡先 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 日本
化学会関東支部 安重智美
〔電話：080-7397-9810, E-mail: kanto@chemistry.or.jp〕

日本金属学会オンライン教育講座 「材料組織弾性学の基礎と応用」

主催 (公社)日本金属学会
期日 2026年9月28日(月)・29日(火)
会場 オンライン (Zoom) による講義
ホームページ
<https://www.jim.or.jp/seminarsymposium/>
連絡先 〒980-8544 宮城県仙台市青葉区一番町1-14-32
(公社)日本金属学会 セミナー・シンポジウム参加係
〔電話：022-223-3685, E-mail: meeting@jim.jp〕

第261・262回西山記念技術講座 実測データに基づいたプロセス制御・計測技術

主催 (一社)日本鉄鋼協会
期日 第261回：2026年10月5日(月) (東京/対面開催),
第262回：2026年11月6日(金) (大阪/ハイブリッド開
催)
会場 第261回：早稲田大学西早稲田キャンパス63号館, 第
262回：CIVI研修センター新大阪
ホームページ
<https://www.isij.or.jp/event/index.html>
連絡先 (一社)日本鉄鋼協会育成グループ
〔電話：03-3669-5933, E-mail: educact@isij.or.jp〕

第12回材料WEEK

主催 (公社)日本材料学会
期日 2026年10月6日(火)～9日(金)
会場 京都テルサ
ホームページ <http://www.jsms.jp>
連絡先 〒606-8301 京都府京都市左京区吉田泉殿町1-101
(公社)日本材料学会
〔電話：075-761-5321, E-mail: jimu@office.jsms.jp〕

APPIE 第5回標準化セミナー 分散・凝集の“カンとコツ”を科学に変える： ISO/JIS 活用術

主催 (一社)日本粉体工業技術協会
期日 2026年10月14日(水)
会場 アーバンネット神田カンファレンス 2階
ホームページ
<https://appie.or.jp/イベント/standardization-seminar-vol5/>
連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-11 種苗会館
5階 日本粉体工業技術協会東京事務所 飯田教雄
〔電話：03-3815-3955, E-mail: norio-iida@appie.or.jp〕

第72回ポーラログラフィーおよび 電気分析化学討論会

主催 日本ポーラログラフ学会
期日 2026年10月31日(土)・11月1日(日)
会場 福井県民ホール
ホームページ
<https://polaro-jp.secure-web.jp/meeting.html>
連絡先 〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1-1
福井県立大学生物資源学部 片野 肇〔電話：0776-61-
6000(内線3308), E-mail: hajime@g.fpu.ac.jp〕

第62回熱測定討論会

主催 日本熱測定学会
期日 2026年11月21日(土)～23日(月)
会場 東京科学大学大岡山キャンパス
ホームページ
<https://www.netsu.org/62touron/index.html>
連絡先 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-15-9
須磨マンション901 日本熱測定学会事務局 土信田裕子
〔電話：03-6310-6831, E-mail: netsu@mbd.nifty.com〕

連合年会 2026 (第39回日本イオン交換研究発表会・ 第45回溶媒抽出討論会)

主催 日本溶媒抽出学会, 日本イオン交換学会
期日 2026年11月26日(木)・27日(金)
会場 千葉大学けやき会館
ホームページ
<http://www.solventextraction.gr.jp/symposium/>
連絡先 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉
大学大学院理学研究院 勝田正一〔電話：043-290-2781,
E-mail: symposium@solventextraction.gr.jp〕

新アミノ酸分析研究会第16回学術講演会 ～基礎から食品・医薬まで～

主催 新アミノ酸分析研究会
期日 2026年12月8日(火)

会場 味の素(株)川崎事業所クライアント・イノベーション・セ
ンター (CIC)

ホームページ <https://sites.google.com/view/jsa3>

連絡先 〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1 東京薬
科大学薬学部 生体分析化学教室 新アミノ酸分析研究会
事務局 柳田 顕郎〔電話：042-676-4537, E-mail:
aminoacidanalysis2011@gmail.com〕

「分析化学」年間特集“薬”論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より年間特集を企画してきました。
2027年は「薬」をテーマとして募集を行います。

基礎・応用を含めた医薬品分析に関する“最新の知見”はも
ちろん、医薬品分析に関する“研究の背景”をまとめた総合論
文や総説を広く募集します。

さらに、薬のみならず、薬により引き起こされる生命現象
(例えば、薬の投与による生体内物質の変動など)を対象とし
た分析研究についても論文を募集します。薬と分析の関わりを
幅広い視点から捉え、分析化学が担う役割を社会に向けて発信
することを目的とします。

本特集に関わる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投
稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は単行の特集号
を除く「分析化学」第76巻(2027年)合併号の冒頭に掲載す
る予定です。国内外、産学官を問わず、「薬」に関わる分析化
学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお
待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。

特集論文申込締切：2026年7月17日(金) (第1期)

特集論文原稿締切：2026年8月21日(金) (第1期)

「分析化学討論会」特集の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」誌では、毎年第12号に分析化学討論会特集号
として、分析化学討論会の討論主題に関連した論文を掲載して
おります。第86回分析化学討論会では、「生体膜と分析化学」、
「医療・健康に貢献する薬系分析の役割と展望」、「分析化学を
通した溶液化学と熱測定の融合」、「バイオ×分析化学：現象の
可視化と社会実装の架け橋」、「食品のおいしさと分析化学：お
いしさの可視化を目指して」、「オンサイト分析で探る環境科
学」の6テーマを討論主題として取り上げました。

2026年度の分析化学討論会特集号では、「課題解決型イノ
ベーションを支える分析化学」をテーマにしました。本テーマ
において、第86回分析化学討論会で設けた6つの討論主題に
関する論文を広く募集します。多数のご投稿をお待ちしており
ます。詳細は分析化学誌のホームページをご確認ください。

特集論文の申込締切：2026年7月10日(金)

特集論文の原稿締切：2026年8月7日(金)

「分析化学誌」特集 “イオンクロマトグラフィーの技術進展と 新規開発”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、イオンクロマトグラフィー研究
懇談会(IC懇)と共同で「イオンクロマトグラフィーの技術
進展と新規開発」と題した特集を企画しました。

本特集号では、方法論の新規開発、試料の前処理・後処理技術、性能向上技術など、ICに関わるイオン分離定量法だけでなく、ICの幅広く様々な分野への応用や適用例に関する論文も募集しております。幅広い分野からの論文投稿をお待ちしています。詳細は分析化学誌のホームページをご確認ください。

特集論文申込締切：2026年8月28日（金）

特集論文原稿締切：2026年10月16日（金）

「分析化学」編集委員会特集 「産学官連携で広がる分析化学」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」誌では、毎年第6号に「編集委員会特集」として特集号を企画しています。2027年度（第76巻）の「編集委員会特集」のテーマは、『産学官連携で広がる分析化学』に決定いたしました。高度に複雑化・多様化している社会課題の解決に向けて、専門分野や組織の異なる研究者同士が協働して研究を推進することの重要性がより一層高まっています。上記状況に鑑み、産学官、産学、学官、および産官での連携研究や、今後共同研究に発展させたい研究成果に関する論文を募集いたします。社会実装に至った研究開発事例、実用化を見据えた分析技術や分析装置・デバイスに関する研究成果、今後産学官での連携に発展させたい研究シーズに関する内容など、産学官連携研究の輪を広げる多数の論文の投稿をお待ちしております。詳細は分析化学誌のホームページをご確認ください。

特集論文申込締切：2026年10月3日（土）

特集論文原稿締切：2026年12月5日（土）

初めて書く論文は母語の日本語で！ 「第25回初執筆論文特集」募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、2026年（第75巻）に第25回「初執筆論文特集」を企画し、下記要領で論文を募集します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2025年より本特集名を「若手初論文特集」から「初執筆論文特集」と変更しました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載になりました次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

自分のアイデア、研究成果を自由に表現できる母語の日本語で、初めての学術論文執筆にチャレンジしてください。先生や先輩に指導をいただいて、論文作成法を習得する良いチャンスにもなります。これは大変貴重な経験であり、次の新たなステップにつながることでしょう。このチャンスは一度しかありません。多数の方々からのご投稿をお待ちしております。

「お知らせ」欄原稿について

支部並びに研究懇談会の役員の皆様：掲載用の原稿ファイルをどうぞ電子メールでお送りください。送り先はshomu@jsac.or.jpです。原稿の長さには制限はありませんが原稿締切日は掲載月の前々月25日（例：1月号掲載→11月25日締切）となっておりますのでご注意ください。

本会外から掲載をご希望の場合は以下をご参照ください。

- 1) 掲載できるものは本会が共催、協賛、後援するものに限られます。
- 2) 国際会議につきましては共催、協賛、後援申請に関する規程並びにフォームがありますので、ホームページをご覧ください。か、本会事務局長宛にお問い合わせください。
- 3) 国際会議以外の講演会等に関しましては、会名、会場、主催団体名、同代表者名、開始期日、終了期日、連絡先並びに同電子メールを記載のうえ、書面でお申し出ください。
- 4) 掲載原稿の作成要領に関しましては承諾をご返事する際にお知らせします。
- 5) 本会支部または研究懇談会が共催、協賛、後援を承諾した事業につきましては、その旨をメールにお書きいただき、原稿ファイルをshomu@jsac.or.jpにお送りください。

国際会議以外の共催、協賛、後援に関する規程抜粋（共催）

8. 討論会、講演会等の共催とは、その討論会、講演会等の開催について、本会は主体性を持たず、会誌等を通じて広報活動等の援助を行う場合をいう。
9. 本会が討論会、講演会等を共催する場合は、その討論会、講演会等の主要議題が本会の専門分野と関連を持ち、本会正会員が会議の準備、運営等の委員に若干名加わることを条件とする。
10. 本会が共催する討論会、講演会等に対しては、他学協会長等の申し出によって会誌等による広報活動の援助を行う。特に理事会の承認を得て分担金を支出することがある。（後援又は協賛）
11. 討論会、講演会等の後援又は協賛とは、本会がその討論会、講演会等の開催に賛同し、後援又は協賛団体の一つとして、本会名義の使用を認める場合をいう。
12. 本会が討論会、講演会等を後援又は協賛する場合は、その討論会又は講演会が分析化学に関連を持ち、その開催が本会会員にとっても有意義であることを条件とする。
13. 本会が後援又は協賛する討論会、講演会等に対しては、希望に応じ会誌等による広報活動の援助を行うことがある。

「分析化学」の掲載料についてのお知らせ

「分析化学」誌では、2020年4月より論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただき、pdfファイルを進呈することになりました。なお、論文の別刷を希望される場合は、別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式（P：印刷ページ数）（単位：円）

会員の場合：30,000 + 5,000 × (P - 4)（印刷ページ数が14ページ以上は一律80,000円）

会員外の場合：40,000 + 5,000 × (P - 4)（印刷ページ数が14ページ以上は一律90,000円）

*上記に消費税がかかります。